



SSH 千葉県立柏高等学校

～2020年は創立50周年～

ケンカシだより 第6号



令和2年2月6日発行

魅力ある県立学校づくり大賞

ケンカシは、『「探究し、伝える力」を重視する学校づくり』というテーマで「魅力ある県立学校づくり大賞」に応募し、優秀賞を受賞することができました。この賞は、魅力ある県立学校づくりの取組において、他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる県立学校に対し、千葉県教育委員会が表彰するものです。表彰式は、2月3日（月）に県庁で行われ、3年8組の藤井俊貴くんに出席してもらいました。彼は、教育長から賞状を受け取る際に、「このような賞をいただき光栄です。県立柏高校で、課題研究をとおして、探究し、伝える力を培うことができました。この力を今後も生かしていきたいと思えます。」と自分の言葉で語ってくれました。

ケンカシは、千葉県教育委員会から進学指導重点校の指定を受け5年目、また、文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受け3期4年目を終えようとしています。

「探究し、伝える力」の育成は、「SSHを学校全体に」というスローガンのもと、SSHの教育活動を活かし、外部の専門機関の協力を得ながら実施し、生徒は教科横断的・総合的な学習に取り組んでいます。これまで、プレゼンテーションの手法を学ぶために、理数科1年生のみが行っていた日本科学未来館への校外学習を、今年度から普通科に拡げて実施しました。普通科生徒は「総合的な探究（学習）の時間」に探究学習を取り入れた「課題研究」を行い、理数科生徒は、1年次に実にさまざまなことを学び、2年次から本格的な「課題研究」を行います。普通科・理数科ともに、研究した成果について、ポスターセッション形式で校内発表会を行っていますし、外部の研究発表会にも積極的に参加しています。研究を始める段階では、1年生が自分たちの班の研究の進め方を説明し、2年生がアドバイスを行うという交流の場を設けることで、生徒同士でも「探究し、伝える力」を高め合える環境をつくっています。

今年度の学校評価アンケート「県立柏高校の授業では、自分の考えをまとめ発表する機会があり、伝える力を重視している。」に対する生徒の肯定的な回答の割合は85.7%です。昨年度が51.8%だったことを考えれば、明らかに多くの教科・科目の授業の在り方が変わってきていることがわかります。

近隣の小学校で生徒が行う「理科出前実験教室」では、児童が目を輝かせながら実験に取り組み、「理科（実験）が好きになった。」という感想が寄せられています。また、小・中学校で行う「小学校算数教室」等に、今年度は281名（延べ940名）の生徒が「せんせい」となり、児童・生徒と交流を行いました。教える場合にも「伝える力」が重要な要素となります。生徒は教えることの難しさとともに、わかってもらえることの喜びを感じ取ります。

すでに「ケンカシだより」で地域の皆様にお伝えしているとおり、「探究し、伝える力」を育成する取組を行っていく中で、「第13回高校生理学研究発表会」において、最優秀賞や双葉電子記念財団研究奨励賞を、また、「千葉県児童生徒・教職員科学作品展」において、千葉県教育長賞を受賞するなど、成果も出始めているところです。

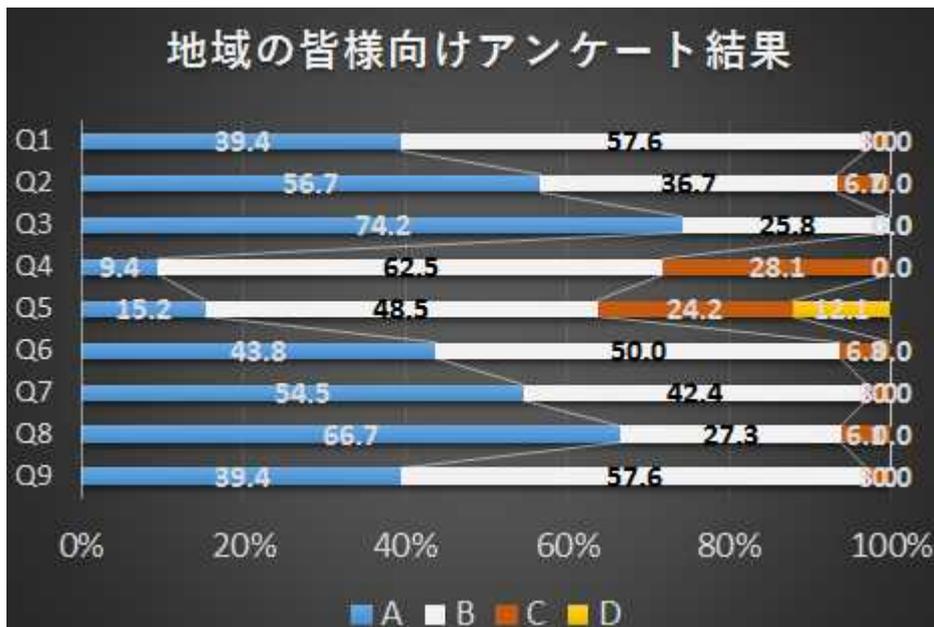
ケンカシでは、変化の激しい新しい時代を生き抜くために必要となるであろう、「探究し、伝える力」の育成に、今後も力を入れていきます。



学校評価

令和元年度のケンカシの学校評価をするにあたり、地域の皆様にも御協力いただき、ありがとうございました。ここでは地域の皆様の評価を掲載します。

- Q1 県立柏高生は、毎日明るく、学校生活を送っている。
 Q2 県立柏高校は、スーパーサイエンスハイスクールとして魅力的な教育活動を行っている。
 Q3 県立柏高校は、千葉県の進学指導重点校に指定された地域の進学校と認識している。
 Q4 県立柏高生は、学校の規則を守り、あいさつがよくできる。
 Q5 県立柏高生は、交通マナーをわきまえて安全を意識して行動している。
 Q6 県立柏高校は、防災などにおいて地域に協力的である。
 Q7 県立柏高校では、学校についての情報発信に力を入れている。
 Q8 県立柏高校では、地域との交流が熱心に行われている。
 Q9 県立柏高校では、地域に信頼される学校づくりに向けた教育活動が行われている。



Q1 から Q9 までの問いに、肯定的な回答 (A または B を選択) をした割合は、それぞれ、97.0%, 93.3%, 100%, 71.9%, 63.6%, 93.8%, 97.0%, 93.9%, 97.0% となっています。Q4, Q5 を除いては、90%以上であり、特に Q3 と Q8 で、A (そう思う) を選択した人が多いことがわかります。

Q4 のあいさつ、Q5 の交通マナーについては、課題としてとらえ、今後、改善していきたいと思えます。

A : そう思う B : どちらかといえばそう思う C : どちらかといえばそう思わない D : そう思わない

<ケンカシへの印象>

- 校長日誌は時々拝見している。学校の活動状況が良くわかり、親しみを感じている。登下校時の自転車のマナーが大変良くなった。地域の活動に参加していただき、一体感の持てる高校だと思う。
- ケンカシ生と接する機会は黎明祭、納涼大会、防災訓練、ブラバン演奏会などだが、一番多いのは通学時。通学時の服装、自転車通学の様子などから、皆さん大変規律正しい生徒たちだと感じている。「ケンカシだより」の結果報告からすれば学業も、部活動も熱心にされている様子が分かる。黎明祭では学校生活の楽しさが伝わる。私ども町会の一員から見ると、ケンカシ生は良い生徒だとの印象である。
- 町会在住 40 年。当時より格段に開かれた。ある年「開かれた学校づくり」に参加し、地域との調和、連携に力を入れていることがわかった。卒業式にも参加し、厳粛な式典に感心した、自転車通学のマナーも先生方の御指導のおかげで大変よくなった。
- 生徒は明るくマナーもよい。交通安全対策にも力を入れており、学校側の努力もうかがえる。
- 真面目な生徒が多く、とても良い高校だと思う。引き続き、地域と連携した高校であってほしい。
- 進学校だと思う。生徒の生活態度は他校よりはよいと思う。近くの住民との交流は協力的である。
- 第一に文武両道のイメージがある。勉強はもちろんの事、部活動に取り組む姿勢も一生懸命で、そして楽しそうところがとても良いと思う。やはり賢い子は違うなと思うと同時に、学校側も個人を尊重し、自立しているからだと思う。第二に、20 年は交通マナーが全然守られていなかったが、ここ 2~3 年はずいぶんよくなったと思う。歩道がない狭い道を通る生徒たちも気の毒だと思うが、事故になる事はもっとも大変なので、自分たちのためにも頑張ってもらいたい。
- 勉強にも、部活にも一生懸命頑張る、素直で明るい生徒が通う学校。
- どちらかといえば甘やかされている人もいる反面、しっかりと自立しているような子もいる。全体的には良い印象だが、貧しい人や困難な人にも目を向けてほしいと思う。
- 県内屈指の進学校との印象がある。端正な服装で、高校生らしく爽やかな感じがする。自転車通学時に交通マナーが良い。道路左側を整然と走行している。登校時間帯、高校の教職員の皆様と父兄が危険な交差点に交通配置をして交通事故防止に努めている。
- 健康で生徒各自がマナーを守り、いきいきしている。部活においても寒さに負けず皆頑張っている。若さってすばらしい。最近「ケンカシだより」を読み、すばらしい生徒さんがいることをほこりに思う。一層頑張ってもらいたい。

○先生が学校の正門の通りを歩きながら、自転車通学してくる学生一人ひとりに大きな声で「おはよう！」と呼び掛けている光景を何回となく目にしている。そこからは、一日のスタート時点での学生との触れ合いを大切に思っている先生の気持ちを感じ取ることができる。でも学生の方から「おはようございます！」と答える元気な声あまり聞こえてこないように思う。挨拶は人間関係を円滑にするための最初の一步。それなくしては、教師と生徒の良好な関係を築き上げていくことはできない。日常感じている悩み事など何でも気軽に打ち明けて相談できるようになりたい。このことは、世上大きな問題になっている学園内の不祥事を撲滅するうえでも大切なことだと思う。余談だが、先ごろ町会内を散歩しているときに小学生と思われる男の子がすれ違いざまに「おはようございます」としっかりした声で挨拶してくれた。初対面の子供だったが町内の人に相違ない。顔を見て「おはよう！」と返したがなんとも言えない清々しい気持ちになった。あとき「おはよう」と応えなかったらあの子はどう思っただろうか。短い一言ながら口に出せてよかった！挨拶の大切さを幼い子供に教えられた気持ちになった。

○生徒というより教員が運転のマナーや挨拶などあまり良い印象がない。昨年も同様なことをアンケートで伝えたとと思うが、向上するどころか、低下していると思う。

○登下校時の職員、生徒への挨拶に反応が鈍い。社会性保持の基本は挨拶。

○他校が近くないのでよくわからないが、一般的に良い学校だと思う。ただし、登下校時の自転車のマナーは決して良いとは言えない。全体的に真面目な生徒が多いとは思いますが、一部の人がルールを守らないと全体が悪いイメージになる。

○自転車の乗り方マナーがとても悪く2列走りライトをつけず、前方から来て真ん中に入った事もある。いつもの事で学校に話にいても直ることはない。何かあったら自転車なしに。

○以前のような活気が感じられない。

<ケンカシに望むこと>

○地域に公開できる行事を黎明祭の他にも増やしてほしい。例えばロードレース大会、体育祭、運動祭など。

○防災訓練の合同実施、夏祭りのブラバンの参加は続けてほしい。ケンカシに望むこととは違うが、要望として、朝、夕（生徒さんが通学時間帯）北柏⇄県柏間2往復程度のスクールバス運行は考えられないか？東武バスの小型もある。私共も老化しだし、朝の帰路のバスを利用できる。近くの駐車場まで歩くのも苦痛なので助かる。生徒さんは無料、一般人は妥当な乗車賃を払うこと。県立柏の立地条件で許可は考えられる。御一考を。

○今後とも、防災訓練や納涼大会等で連携していただければよいと思う。

○利根町会とは、夏祭り、防災訓練、文化祭、地域会議などいろいろな面で連携していただき、本当にありがたいと思う。

高齢化が進む、当町会において、高校生の皆さんの若い力や楽しそうな笑い声が助けになり、励みになっている。これからも平素は元より災害時においてもお互いに協力できる体制をお願いしたい。

○教職員の皆様が努力されていることは、大変理解している。生徒たちもよく協力してくれていると思うので、今後も引き続き推進してほしい。

○今のままで十分だと思う。高齢化が進む世の中で（地域）にはとても助かる。（生徒の交流や災害時の連携など）

○現状のままで良いと思う。雪が降って、凍り付いた道を生徒さんがスコップで雪かきをしてくれて大変助かった。先生方の指導のもと、生徒さんが引き受けていることに感謝している。最近自転車のマナーも大変よく、このまま続けてほしい。また、雨の日や天候の悪い時、せめて朝夕でもバスが通れたらよいと思っている。

○生徒にとって心配なのは通学路。善照寺から前原に抜ける道路の安全性である。幸い大きな事故は聞かないが、いつ起きてもおかしくない状況だと思う。車の制限時速は30km/hだが、善照寺側から前原側からも、坂道では車のスピードが出る。対策として、もっと目立つ制限速度を記す立て看板を設置する、更に道路の一部にはバンパーを設けてスピードを落とさせては如何か。（但し、自転車用に道路端の方はバンパー不要。）また、バス道路の宿連寺停留所付近の、生徒が通学時に利用する横断道路には目立つ白線を引き、車に注意を促す立て看板を設置するとよいと思う。必要があれば、近隣町会と一緒に設置運動を行うとよいと思う。

○地域と連携に力を入れていることは、理解している。しかし、地域にそれが浸透するのは簡単ではない。試みに次回から回答項目に「よくわからない」を入れてみたら、いかがか。

○各学校行事の時、父兄の方の車両の通行や駐車について配慮を願いたい。（雨天時の迎え等も含む）自転車通学のマナーをもう少しよくしてほしい。ケンカシだよりの様な情報を地域住民にもっと発信してほしい。

○地域住民（私達との）は柏高校と良いつながりを持ちたいと願っている。朝の声かけが自然にできるともう少し身近な存在になるかと思う。

○交通対策。

○利根町会の納涼大会の際には、大変忙しい中、校長先生はじめ、吹奏楽部やダンスクラブの生徒さんが参加していただき、音楽の演奏や踊りを披露してくれている。2か月程前富勢中学校の交差点で、自転車で登校中の柏高校の生徒さんが右方から走行して来て、夫人が運転する自転車と出会い頭状態で衝突した。幸いこの事故で双方に怪我はなかったが、もし角度が悪かったら大きな事故に発展する恐れがあった。（学校は授業に遅れても仕方がないので、安全運転第一に指導しては如何か）横断歩道のある交差点を自転車で通行する際、自転車から降りて右手を上げ、横断歩道を渡るとの意思表示をすれば、自転車の運転手は停止せざるを得ないので、道路交通法を守り、通行するよう指導されては如何か。（自転車に乗った状態では軽車両となる？）

○非常時の避難所としての存在感のPR。利用可能施設の公開、PR。

東葛飾地区研究集会

令和元年 11 月 29 日（金）に、「令和元年度千葉県高等学校 PTA 連合会東葛飾地区研究集会」が、我孫子市湖北地区公民館で行われました。幹事校は関宿高校で、研究協議における PTA の取組の発表校は、ケンカシ、柏南高校、野田中央高校でした。ケンカシの発表では、「県立柏高等学校 PTA 活動について～PTA も Enjoy！！ケンカシ Life～」というテーマで、「ケンカシの紹介」、「PTA 活動の取組」、「これからのケンカシ」の順に、PTA 役員が説明していきました。時間配分、内容のバランスがとてもよかったですと感じました。3校いずれの発表も参考になる内容で、多くの質問が出されていました。他校の取組例を聴き、自校の活動を振り返ることのできた、学ぶことのできた、よい研修会だったと思います。

講評の中で、「ケンカシの PTA 活動は、さまざまな取組が行われている。プランターに花を植えたり、登校指導を行ったりするなど、中学校でよく行われている「見守る PTA 活動」も行われていて、すばらしい。いろいろな取組をしていて大変そうだが、PTA が楽しそうに取り組んでいることがわかった。」との言葉をいただきました。

ケンカシ PTA は、皆、本当に仲がよく、結束力がかたいです。

地域、保護者、職員で、ケンカシ生徒を育てていきたいと考えています。



ロードレース大会

1月30日（木）に「ロードレース大会」を行いました。今回で49回を数えます。開校2年目から続いている伝統ある行事です。昨年度までは、ケンカシのまわりを走っていましたが、今年度は柏の葉公園に場所を移しての実施としました。天候にも恵まれ、無事に終えることができました。

ゴールしたときに疲れて、辛そうな表情を見せる生徒もいましたが、閉会式のときの生徒は皆、充実感あふれる表情をしていました。男子は8km、女子は5kmの距離を走りきったという自信、精神力、体力は、これからの人生の糧になることと思います。



ケンカシホームページ

ケンカシでは、学校の様子をホームページに掲載し、日々更新することにより、情報発信に努めています。（ケンカシホームページアドレス <https://cms1.chiba-c.ed.jp/kashiwa-h/>）